

新しい公共支援事業構成事業「多様な主体による交流促進事業」
事業企画提案書

平成23年7月11日

神奈川県知事 殿

住 所 神奈川県相模原市緑区西橋本

1-16-18

郵便番号 252-0131

団 体 名 特定非営利活動法人 ふれあい自然塾

代表者氏名 理事長 松井 利夫



多様な主体による交流促進事業について、次のとおり関係書類を添えて応募します。

事業計画の概要	<p>※事業を実施する地域を明記してください。</p> <p>県央及び県北地域において、子どもの健全育成を図る活動を主として行なっているか、必要性を感じているNPO、企業、大学、行政等に交流の場を提供して参加を呼びかけます。</p> <p>交流の場に参加した団体が持つ「強み」を引き出して「協働の力」で、子どもの健全育成を図る上での問題解決にあたります。</p> <p>同時に、交流の場に参加した団体の活動が自立・定着することを促進し、新たな参加を促すことによってネットワークの深化を図ります。</p>
委託料 見積金額	<p style="text-align: center;">3, 730, 000円</p> <p>※ 委託料の対象となる経費の見積金額を記入してください。</p>
応募理由	<p>弊団体は、野外での自然体験を通して子どもの健全育成を図る活動を主に行なっています。同じ目的で活動している他の団体との情報交換や相互の協力など徐々に実績を上げてきております。しかし、ネットワークの整備が十分ではないため諸団体の得意分野、何を目指しているのか、どのような協力を期待しているのか、などがよく分からないのが現状です。そこで弊団体がネットワークづくりに役立ちたいとの思いから応募いたしました。</p>

団 体 調 書

団 体 名	★	特定非営利活動法人 ふれあい自然塾	
連 絡 責任者	★	氏 名	林 泉
		住 所	〒〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本1-16-18
	(日常的に連絡 が取れる方の連 絡先を記入して 下さい。)	電話・ファクス	電話：042-774-8113 ファクス：042-774-8113
		e-mail	fureai-sj_0611@nifty.com
発足年月日	★	2006年 11月 9日	
団体設立の経緯		自然と人間、又は人と人とのふれあいを大切にしたいと思う私たちが、設立の趣旨の社会活動を行なうにあたり、目的を達成させるために、社会的な知名度、信用が向上することを目指し、特定非営利活動法人ふれあい自然塾を設立しました。	
団体の目的 (定款、会則等に記載された目的 を記載してください。)		この法人は、日本全国の青少年やその家族に対して、自然の中での生活体験等を通じ、自然の恩恵、社会の恩恵を感じ、協調性や自立の精神を高め、自己責任意識の向上などの啓蒙活動及び、自給自足能力、サバイバル能力の向上や、自然と環境の保全及びエコロジーに関する教育事業を行い、環境保全に対する意識の啓蒙、自然と人とのふれあいを通じて得られる情操教育の向上に寄与することを目的とする。	
会員数		個人会員	119名 ・ 団体会員 8団体
役員数		理事・監事・世話人・運営委員等 理事14名、監事2名、顧問3名	
主な活動地域		神奈川県および全国	
主な活動内容 (定款、会則等に記載された目的 を記載してください。)		1、社会教育の推進をはかる活動 2、まちづくりの推進を図る活動 3、学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動 4、環境の保全を図る活動 5、地域安全活動 6、国際協力の活動 7、子どもの健全育成を図る活動 8、職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動 9、前各号の掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動	
会報等の発行		④ タイトル：会員通信 発行時期：(定期 4回/年 ・ 不定期)	無
ホームページ		④ URL http://www.fureai-shizen.or.jp/	無
財政規模		【今年度予算】(平成23年1月～平成23年12月) 13,088千円 【前年度決算】(平成22年1月～平成22年12月)(見込み・確定)	
・前年度決算については、見 込み・確定のいずれかに○ をしてください。 ・前年度、前々年度について は、原則として団体の活動 全体にかかる年間の収支予 算等を「収入の部」「支出 の部」に分けて更に簡単な 項目毎に記入してくださ い。		[収入]	[支出]
		会費収入 1,460千円 寄付収入 8,058千円 事業収入 2,090千円 その他収入 4,564千円 計 16,172千円	事業費 9,057千円 管理運営費 4,631千円 その他支出 750千円 計 14,437千円
		【前々年度決算】(平成21年1月～平成21年12月)	
		[収入]	[支出]
		会費収入 1,520千円 寄付収入 10,907千円 事業収入 1,414千円 その他収入 3,869千円 計 17,710千円	事業費 8,455千円 管理運営費 5,315千円 その他支出 140千円 計 13,910千円
助成及び委託や行政との 協働の主な実績		例) ○○年度 ○○財団(○○事業) ○○円 相模原市緑区地域活性化事業交付金の交付が2011年6月に決定し、2011年11月に「相模川クリーンハイキングとヤツボ探訪」事業を実施します。	

※営利団体である場合は、★の項目のみ記入し、会社概要等を添付してください。

実施計画書

1 現状認識と課題認識

(多様な主体による協働・連携に関する現状認識と課題認識を記入してください。なお、記載に当たっては「新しい公共支援事業の実施に関するガイドライン」及び「神奈川県新しい公共支援事業基本方針・事業計画」を参考にしてください。)

(1) 当会の主な活動分野である「環境の保全」、「子供の健全育成」等の分野において、地域では様々な主体が活動を行っています。特に NPO は所属する地域の立地や自然環境などの特性を生かした活動を行っています。

特性を生かした活動を行っている NPO はホームページやコミュニティー誌等でその活動を公表しているものの、独自のホームページを公開している NPO は数少なく情報交換や協力体制を構築するのが難しい現状です。その情報発信力は弱く一部の人にしか知られていないという課題があります。

(2) 当会を支援する企業は社会貢献を実施したいものの、一社では企画や運営が難しいと感じて当会への支援を通して社会貢献しています。

他の主体と連携して社会貢献活動を実施したいという企業は多いが、連携先を選ぶ情報が少なく一歩踏み出す段階に至らないという課題があります。

2 事業の具体的内容

(2年度分の事業の具体的内容について記入してください。)

子供の健全育成を図る問題に取り組む切り口として、『待機児童』や『学童保育』など子育ての問題に取り組みます。

3 か月ごとに子育ての問題に取り組む NPO、企業、大学、行政等の交流会を開催します。

5 回目の交流会までには、NPO、企業、大学等の共同運営事業立ち上げの目処を付けます。

(共同運営事業の例：待機児童の対応施設運営、企業の託児所開設等)

5 回目の交流会は、先行している団体による「講演会」、「パネルディスカッション」および参加者全員による「懇親会」を開催します。

交流会では、各地域の「子育てにかかわる NPO」や「企業」などから回収したアンケート結果に基づいて、「NPO や企業などが、お互いに何を必要とし、何が出来るのか」などの意見を交換する場とし、そこから生まれる事業を検討します。

- ・ 各エリア・各種団体にアンケートを実施。
そのアンケートに基づいて、同じ考えを持つ「企業」「NPO」での交流会の開催（平成 24 年 1 月予定）
- ・ 第 1 回交流会の意見を基に、其々のエリアでの課題についてさらに踏み込んだ内容で、3 か月ごとに交流会を開催。
- ・ その中から、「企業」「NPO」が協力して行える事業を検討し、必要に応じて、専門の方を講師に招き、学びながらの交流会の開催。
- ・ 平成 25 年 1 月にイベントとして、子育ての問題解決に関わる講師を招いて「講演会」「パネルディスカッション」を行い、その後、立食形式にて交流会の開催。

3 事業の効果

(この事業により、どのような効果があるのか記入してください。)

第一段階：交流会を通して地域内の団体が何を求めている、お互いに何が出来るかの意見交換を行い、其々の意思を確認し合います。

第二段階：交流会やその準備活動を通じて情報交換をしながらコミュニケーションを深め、具体的な活動の実行に移していきます。

第三段階：第二段階で実行に移した事業を自立した組織として継続させ、新たな事業展開と地域内に協働コーディネート機能を創出させる。

4 この事業に関連する団体のこれまでの取組み及びアピールしたい点

(1) この事業に関連する団体のこれまでの取組み

(この事業に関連して団体として取り組んできた活動の実績を記入してください。)

2006年11月NPO法人として発足以来、会員の増強と寄付者の発掘に努めて財務基盤を強化し、年間を通して子どもや親子連れを一般募集して自然体験活動を行なっています。会員には野外活動が豊富な人材が多く、一般の人が普段経験できない自然体験活動を安全に実施しています。

現在まで、NPOECOPLUS、NPO 篠原の里、NPO ふうき塾、休暇村協会などの他の団体と連携して活動を行なってきました。

(2) この事業に関連する団体のアピールしたい点

(この事業を実施するにあたってアピールしたい団体等の特徴などを記入してください。)

2009年11月に国税庁の認定を取得したNPO法人として、活動内容、経理・財務管理体制は第三者から厳しくチェックされています。

2011年6月末時点での会員数は、全国で個人119名 企業8社の計127人です。組織力を発揮して地域のNPO、企業や各種団体等をこまめに訪問して連携を深めることができます。

2010年1月から12月までの1年間に自然体験事業を6件実施し130人の参加、ふれあい教育事業は7件実施162人の参加です。

2011年6月には相模原市緑区の地域活性化事業交付金事業に選定されました。2011年11月に「相模川クリーンハイキングとヤツボ探訪」事業を実施します。

5 事業の実施体制

(この事業に関する責任者やスタッフの数などについて記入してください。有資格者などの専門人材についても記入してください。)

(1) 総括責任者 1名

(2) 副責任者 1名

(3) 会計責任者 1名

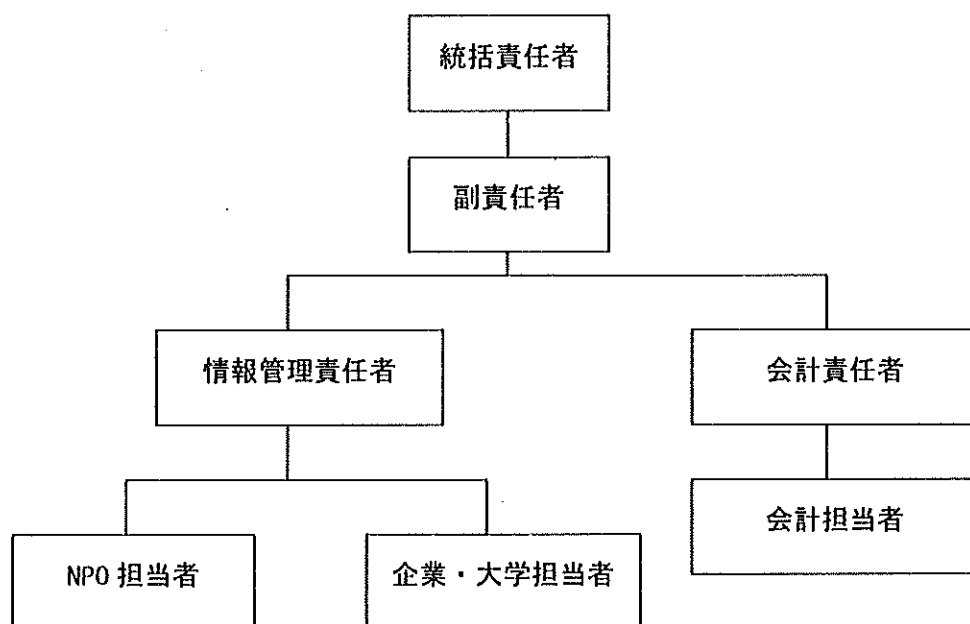
(4) 情報管理責任者 1名

(5) その他担当者 2名

※上記スタッフ中 常勤者1名、非常勤2名

※(4)(5)は兼務可

(6) 実施体制図



6 事業のスケジュール

<23年度>	事業実施内容
平成23年8月	公開プレゼンテーションに参加。
平成23年9月	事業の趣旨説明用の案内文を作成する。 地域のNPO、企業、各種団体を束ねている団体をリストアップし、訪問等を行ない、事業の趣旨説明を行ない、アンケート調査を依頼する。
平成23年10月	引き続きアンケート調査を行いながら、アンケートを回収して分析を行う。 交流会準備 開始
平成23年11月	引き続きアンケート調査を行いながら、アンケートを回収して分析を行う。 交流会準備
平成23年12月	交流会準備
平成24年1月	第1回 交流会開催（エリアごと：相模原地域・厚木地域など）
平成24年2月	交流会 実施報告書作成（第1回報告書）
平成24年3月	平成23年度の成果の取りまとめと評価
平成24年4月	第2回 交流会
平成24年5月	交流会実施報告書作成（第2回報告書） 交流会準備

事業実施内容	
平成24年6月	交流会準備
平成24年7月	第3回 交流会開催
平成24年8月	交流会実施報告書作成（第3回報告書） 交流会準備
平成24年9月	交流会準備
平成24年10月	第4回 交流会 開催
平成24年11月	交流会実施報告書作成（第4回報告書）
平成24年12月	イベント・交流会準備
平成25年1月	イベント・第5回 交流会開催 イベント、交流会実施報告書作成（第5回報告書）
平成25年2月	
平成25年3月	平成24年度の成果の取りまとめと評価

収支予算書（平成23年度）

科 目	金 額 (円)	備 考 (積算基礎等)
(収入の部) 業務委託料	1,170,000	
収入合計 (A)	1,170,000 円	
(支出の部)	(支出の部)	
人件費	637,000	常勤職員 (1 名)、非常勤職員 (1 名)
アンケート作成費	50,000	アンケート作成委託費用
旅費交通費	30,000	スタッフ移動費用 2 回×2 名 橋本～厚木・海老名・大和・座間 愛甲石田間 (電車代から算出)
消耗什器備品	100,000	PC1 台増設
消耗品費	66,000	紙・インクなど
通信運搬費	100,000	電話・インターネット・切手代など 41,200 複合機(リース) 58,800 現在使用している機材の費用から算出
HP 開設・管理費	84,000	現在運用している当会の HP に追加する
広告宣伝費	10,000	雑誌や団体 HP の使用
会議費	93,000	・ 打ち合わせ会場費 2,500×6 か所×2 回 ・ 交流会 10,500×6 箇所×1 回
支出合計 (B)	1,170,000 円	
収支差額 (A-B)	0 円	

※ 「企画募集のご案内」2ページの対象となる経費を参考に記入してください。

※ 収支差額 (A-B) = 0 の予算を作成してください。

収支予算書（平成24年度）

科 目	金 額 (円)	備 考 (積算基礎等)
(収入の部)		
業務委託料	2,560,000	
収入合計 (A)	2,560,000 円	
(支出の部)	(支出の部)	
人件費	1,400,000	常勤職員 (1 名)、非常勤職員 (2 名)
旅費交通費	65,000	スタッフ移動費用 5 回×2 名 橋本～厚木・海老名・大和・座間 愛甲石田間 (電車代から算出)
消耗品費	220,000	紙、インクなど
通信運搬費	180,000	電話、ネット使用料、切手代等
HP 管理費	32,000	
広告宣伝費	63,000	月刊誌 (月刊ニュース、ショップ-など)
会議費	500,000	・ イベント 38,000 (会場費) + 150,000 (飲食費) ・ 交流会 10,500×6 箇所×4 回 打ち合わせ 2,500×6 箇所×4 回
謝礼金	100,000	講師謝礼・交通費など
支出合計 (B)	2,560,000 円	
収支差額 (A-B)	0 円	

※ 「企画募集のご案内」4ページの対象となる経費を参考に記入してください。

※ 収支差額 (A-B) = 0 の予算を作成してください。